

第5学年 学級活動(1)指導案

令和3年 10月7日(木) 5校時
〇〇小学校 5年4組 〇名
指導者

1 議題名 「居住地交流を成功させよう」ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

2 議題決定までの背景と経過

(1) 児童の実態

本学級の子どもたちは、「世界一発表ができる 世界一助け合える 世界一楽しい仲良しクラス」を学級目標に掲げ、日々の学級での生活を送っている。日常生活の中の様々な出来事を学級全員で共有する中で、一人ひとりが輝き温かい人間関係でつながれた学級をめざしている。友達の成長が感じられる場面があるとみんなで拍手をして喜び合ったり、委員会の仕事に行く友達に「行ってらっしゃい。」「おかえり。」と声をかけたりと、同じ学級の仲間として互いに意識して生活している。しかし、全体のことを考えるまでには至らず、学級の中での問題に気づかない子どもや、気がついていても行動するには至らない子どももいる。また、仲の良い友達との関係に重きを置き、人間関係が限定的である子どももいる。子どもたちがこれから様々な人と出会い関わり合っていく中で、どんな状況でも相手の思いや願いに目を向け、自分の考えで行動し、よりよい関係を築いていってほしい。そのためにも、相手の立場で深く考え主体的に行動する力を身に付ける必要があると考える。

話し合い活動では、これまで「給食の時間をよりよくする方法を考えよう」「花丸10こ会の計画を立てよう」などの議題で学級での生活を工夫し、みんなが気持ちよく過ごすための話し合いを進め実践してきた。これらの実践を重ねることで、活発に意見を言ったり学級会の流れを意識した発言をしたりすることができる子どもが増えてきた。しかし、話し合い自体はスムーズに進むものの、内容の深まりに欠ける場面もある。自分の意見をしっかりもち安心してなんでも言い合える学級の雰囲気になるよう、日々の学習においても、児童がしっかり相手の意見を聞き、認めたり自分の意見を言ったりする場面を多くとっている。

(2) 議題選定までの経過

子どもたちは3年生の時から毎年、A支援学校のBさんと居住地交流を行っている。今年度は、7月と10月にweb会議ツール「zoom」を利用して交流を行う予定である。7月の交流では自己紹介やじゃんけんゲームを通して交流を行った。子どもたちからは、「とても楽しい交流になった。」「Bさんの好きなことが知れて良かった。」といった声が聞かれた。また、「自分たちは楽しかったけど、Bさんはどうだったのかな。」「Bさんにももっと楽しんでほしい。」という意見も上がった。2学期が始まり10月の交流会が近づいてくる中で、子どもたちから「今度の交流会はBさんがもっと楽しめるものにした。」という意見が出た。7月の交流会でそれぞれが考えたことを生かして、1回目よりさらに楽しい交流会にしたいということから、全員一致で今回の議題に決定した。

(3) 指導にあたって

これまでの話し合いを通して、理由を大切にし、少数意見も生かした合意形成ができるよう指導を行ってきた。少数意見も大切にするため、短時間で全員の意見を把握する手段としてタブレットを活用している。個々に自分の考えを入力し電子黒板に表示して発表したり、詳しく聞きたい意見について質問したりして話し合いを深めていく。その際には、表示された画面が多数決の手段にならないよう助言を行った。

本時では、1回目の交流での経験を生かし、自分たちだけではなくBさんが楽しめる活動という視点でしっかり考えた話し合いをさせたい。2回の居住地交流が、子どもたちにとって相手のことを考え主体的に行動する経験となるよう支援していきたい。この経験が、より温かい人間関係を築いていく力につながると考える。

3 活動の流れと指導助言・評価規準

	活動内容	時間	指導助言	目指す児童の姿
話し合いの準備	役割分担・議題選定 (計画委員会)	10/1(金) 昼休み	・議題選びの視点を念頭において、選定することを指導する。	○議題決定の仕方について理解している。(知識・技能) ○居住地交流についての見通しをもち、意欲的に取り組もうとしている。(主体的態度)
	議題決定 (全員)	10/1(金) 帰りの会	・計画委員会で選定した議題案をもとに、学級全員で決定する。	
	活動計画の作成 進行の仕方の確認 (計画委員会)	10/5(火) 昼休み	・話し合いのめあて、内容、順序、時間配分を考えて計画を立てるように助言する。 ・提案理由をしっかりと確認する。 ・計画委員会で決まったことを、学級活動コーナーに掲示させる。	
	自分の意見をまとめる (全員)	10/6(水) 朝の会	・Bさんも自分たちも楽しめる会の計画を立てる話し合いになるよう、自分の意見をもって参加できるように助言する。 ・学級会ノート(タブレット内)に意見を記入させる。	
	書かれた意見の整理 (計画委員会)	10/6(水) 昼休み	・出された意見から話し合いの見通しがもてるよう助言する。	
話し合い	「居住地交流を成功させよう」(全員)	10/7(木) (本時)	本時の活動に記述	
実践	準備(全員)	10/8(金) 学活	・いずれかの係に全員参加し、全員で準備を進める。分担を決め、友達と協力しながら準備ができるよう励ます。	○居住地交流のめあてを意識して、友達と協力して取り組もうとしている。(思考・判断・表現)
	実践(全員)	10/21(木) 学活	・集会のねらいを確認し、意欲的に活動できているか見守り必要な支援や称賛をする。	
振り返り	活動の振り返り (全員)	10/21(木) 帰りの会	・めあてに基づいた振り返りを行えるよう助言する。 ・うまくいかなかったこともこれからの活動に生かせることに気付かせ、意欲づけをする。	○居住地交流の成果と課題を振り返り、自分や友達の頑張りに気づいたり、次の活動に生かそうとしたりしている。(主体的態度)

4 本時の活動

(1) ねらい

Bさんも5年4組のみんなも楽しい交流会になるように話し合い、計画を立てることができるようにする。

(2) 活動計画

※ 本指導案3枚目に記述

(3) 指導助言

- ・提案理由に沿って、Bさんも5年4組のみんなも楽しめる「居住地交流」となるような計画を自分たちの力で決めることができるよう見守り、必要に応じて助言する。
- ・友達の思いを大切にしながら話し合いを進めることができた意見を称賛し、次時の活動意欲を高める。

(4) 目指す児童の姿

- ・1回目の居住地交流の経験や友達の意見のよさを生かして、2回目の居住地交流の内容や工夫について考えている。
- ・提案理由に沿って発言したり、友達の意見と比べて聞いたりしている。(思考・判断・表現)

第 12 回 いっぱい発表5-4学級会 計画

10月7日(金)5 時間目

司会	黒板	ノート記ろく
----	----	--------

1 ぎだい 居住地交流を成功させよう。

2 ていあん理由(さん)
1回目の交流会がとても楽しかったので、2回目の交流会は
Bさんもちと楽しめる交流会にしてもっと仲良くなりたいたいから。

3 めあて
Bさんも5-4 のみんなも楽しい交流会にするために必要なことを
話し合い計画を立てる。

4 話し合い。 決まっていること(日時…%(木)10:30~11:00)
プログラム…2つか3つ zoomで行う

時間	話し合う順序	気をつけること
10分	柱1) 何をするか決定しよう。	●提案理由を意識し、 少数意見も大切にしながら 話し合いを進める。
15分	柱2) Bさんが喜ぶ工夫を 考えよう。	●1回目の交流会を思い 出し、Bさんが喜んでくれ そうな工夫にする。
10分	柱3) 係を決めよう。	●全員がどれかの係を することを確認する。

5 決まったことの発表

6 めあての反省

7 先生のお話

8 おわりの言葉